

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当

学校教育課

資料4

| | | | |
|---------------|--|---|----|
| 施 策 | 2-1 子育て支援の充実 | | |
| 成果指標 | 年度当初の保育園待機児童数 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 0人 | / | 7人 |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | <p>・2019年10月から実施された保育の無償化や共働き世帯の増加により保育ニーズが高まる中、0歳から2歳を担当する職員不足（担任保育士、休暇代替保育士、早朝・延長保育士、調理員）によりクラスの開設ができなかったため</p> | | |
| 目標達成に向けての取り組み | <p>・長時間労働、低賃金、業務多忙、休みが取りにくい、職場内・保護者等の人間関係の不安など、全国的に保育士不足が深刻である上に、近隣市町で保育士を取り合う現状がある。子どもの安全をはじめとする保育の質を維持し、さらにニーズに応じたクラス数を開設するためには、必要数の職員（担任保育士、休暇代替保育士、早朝・延長保育士、調理員）を確保する必要があるため、園の職場環境改善や会計年度任用職員の処遇改善に取り組む</p> | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 町民課

| | | | |
|---------------|--|---|----|
| 施 策 | 3-5 男女共同参画社会の実現 | | |
| 成果指標 | 男女共同参画啓発回数 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 2回 | / | 0回 |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における事業中止のため啓発活動の機会を確保できなかったため。 | | |
| 目標達成に向けての取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人三重県産業支援センターとの共催で行う地域活性化雇用創造プロジェクトにおいて、結婚や出産等で離職した女性の再就職をサポートする「女性の就職サポート事業」においてオンラインで受講できるセミナー等の周知啓発を行っていく。 ・コロナ禍においても対策を講じたうえで、事業の実施に検討し周知啓発を行っていく。 | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当

総務課

| | | | |
|---------------|------------------------------------|---|----|
| 施 策 | 3-5 男女共同参画社会の実現 | | |
| 成果指標 | 町職員の男性職員の育児休業取得者比率 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 25% | / | 0% |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | 男性職員の育児休業の取得者がいなかったため。 | | |
| 目標達成に向けての取り組み | 出生時（又は出生予定の聞き取りの時）に男性育児休業の制度案内をする。 | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 町民課

| | | | |
|---------------|---|---|----|
| 施 策 | 3-6 人権尊重社会の形成 | | |
| 成果指標 | 人権啓発回数 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 2回 | / | 0回 |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | ・ コロナ禍における事業中止のため啓発活動の機会を確保できなかったため。 | | |
| 目標達成に向けての取り組み | ・ 人権に対する啓発機会を確保しながら、子どもや教育関係者等に対する人権教育を行い人権意識の高揚を図っていく。 | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 町民課

| | | | |
|---------------|---|---|--------|
| 施 策 | 4-2 行政機能の確保・管理 | | |
| 成果指標 | マイナンバーカード取得率 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 100% | / | 45.61% |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード取得後の利便性が高いとは言えず、交付枚数が伸び悩んでいるため。 ・R4年3月末時点での交付率は、全国の43.29%に対して当町は45.61%であり、全国に比べ高い方である。今後、住所異動手続きの際マイナンバーカード所有者であれば手続きが簡略される等、利便性が高まると想定されるため、交付率も上がると思われる。 | | |
| 目標達成に向けての取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・平日に加え月2回の休日窓口を設け、受け取りやすい環境を整えているほか、カードの未受け取り者に対して、受け取り再通知案内を送付し確実な交付を目指していく。マイナンバーカードの申請補助として、窓口で写真撮影を行いオンライン上での申請補助を行っている。また、政策課によるマイナポイントの取得手続き支援も行っており、ポイント付与サービス終了までは継続していく。 ・今後、笹尾連絡所での写真撮影を含む申請補助を行ったり、職員による商業施設での出張申請補助も検討し、取得率向上に努める。 | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 社会教育課

| | | | |
|---------------|--|---|------|
| 施 策 | 6-3 文化力の向上 | | |
| 成果指標 | 文化イベント来場者数 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 3,000人 | / | 908人 |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | 文化イベントとして、こども歌舞伎公演、東員「日本の第九」演奏会、東員ミュージカル、音楽祭の各種事業のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により、結果として東員ミュージカルでの2回公演のみの開催となったため。 | | |
| 目標達成に向けての取り組み | 令和2年度から講じてきた新型コロナウイルス感染症感染防止対策を状況に合わせて引き続き行うことでの共通認識を関係団体と共有し、開催に向けた協議を重ねた。 開催できた東員ミュージカルでは、座席は指定席とし開場前の混雑と客席での適切な間隔を保ち、開演中の機械換気、幕間の時間延長とサーキュレーターでの換気並びにスタッフによる各所アルコール消毒など行い、安全安心なイベント開催に取り組んだ。 | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 社会教育課

| | | | |
|---------------|--|---|---------|
| 施 策 | 6-4 スポーツの振興 | | |
| 成果指標 | 体育施設利用者数 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 245,000人 | / | 96,885人 |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | <p>新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う「三重県まん延防止等重点措置」が発出され、社会体育施設の開館時間の制限を行いました。またその後発出された「三重県緊急事態措置」により、約1カ月施設の閉鎖を行いました。また解除後も、各種大会の中止や、利用者からの利用の中止などあったため。</p> | | |
| 目標達成に向けての取り組み | <p>令和2年度から取り組んできました、手指や設備器具などの消毒をはじめ、換気や適度な間隔の確保など感染対策を引き続き行い、町主催のスポーツイベントの開催に努め、運動することへの意識の高揚を図る取り組みを行った。</p> | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 産業課

| | | | |
|---------------|---|---|----|
| 施 策 | 7-1 農業の振興 | | |
| 成果指標 | 人・農地プランの作成数 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 7件 | / | 1件 |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | 令和3年度末時点の人・農地プラン作成件数が目標値の半分に達していないため。 | | |
| 目標達成に向けての取り組み | 高齢化・人口減少が進み、農業者の減少や耕作放棄地が拡大することから農地の集約化等、耕作者の人材確保・育成の強化のために農業経営基盤強化促進法の一部が改正され、令和7年3月末を期限に「地域計画」（人・農地プラン）の策定が必要になります。これまで穴太、中上地区の2地区で目標地図を作成し、令和4年度は南大社地区で目標地図の作成に向けた人・農地プラン地域検討会を実施しています。また来年度には八幡新田・長深地区でも地区の話し合いを進めていく予定です。今後も引き続き、残りの地区の地域計画策定に向けた取り組みを早急に進めます。 | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 総務課

| | | |
|---------------|---|-----|
| 施 策 | 8-1 消防・防災対策の充実 | |
| 成果指標 | 地域防災訓練の実施地区数 | |
| R7目標値 / R3実績値 | 15地区 | 0地区 |
| 判 定 | D | |
| 判定理由 | コロナの影響で行われなかったため。 | |
| 目標達成に向けての取り組み | コロナ過の中で、自治会又は自主防災組織において、地域防災訓練を実施される自治会もあるが、中々開催が出来ていない。今後は、コロナの影響もあるが、自主防災の機能低下にならないよう、各自治会とコロナ過で何が出来るかを相談しながら訓練実施に向け協議していきたい。 | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 総務課

| | | | |
|---------------|---|---|-----|
| 施 策 | 8-1 消防・防災対策の充実 | | |
| 成果指標 | 地区防災計画策定地区数 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 1地区 | / | 0地区 |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | 地区防災計画策定に向け、1自治会と協議を進めてきたが、計画策定までに至らなかったため。 | | |
| 目標達成に向けての取り組み | 現在、浸水想定区域内にある自治会と計画策定に向け協議中であり、11月を目途に計画策定する予定で進めている。1自治会の計画が出来た際に、他の自治会にも計画策定の案内をしてそれぞれの地域にあった計画策定に向け協議していきたい。 | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 政策課

| | | | |
|---------------|---|---|-----|
| 施 策 | 9-3 公共交通網の維持・確保 | | |
| 成果指標 | 新たな技術や移動手段などの取り組み事業数 | | |
| R7目標値 / R3実績値 | 1事業 | / | 0事業 |
| 判 定 | D | | |
| 判定理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本町の地域特性に合った移動手段や運行形態について研究及び検討を行ったが、本格導入には至らなかったため。 | | |
| 目標達成に向けての取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年11月には中部公園で開催されたイベントにおいて次世代モビリティ用いた実証実験を行った。また近隣市町で導入されているデマンド交通の仕組み等について取りまとめ、本町に適した運行形態について研究及び検討を行った。 | | |

目標値に対する判定理由と達成に向けての取り組みについて

担当 上下水道課

| | |
|---------------|--|
| 施 策 | 9-6 良好な居住環境の形成 |
| 成果指標 | 導水管、送水管更新延長 |
| R7目標値 / R3実績値 | 1km / 0km |
| 判 定 | D |
| 判定理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 導水管、送水管の更新については、低区配水池の送水管222mを新たに布設しました。ただし、この送水管の使用は、令和4年～令和7年度の管理事務所の電気・機械設備等の更新を進めており、この更新が完了してからとなるため、実績値に計上しておりません。 ・ 令和3年度、水道管路耐震化・更新計画を策定しました、構造物も含め更新優先度評価を行い、更新費用の平準化を図りながら進めています。 |
| 目標達成に向けての取り組み | <ul style="list-style-type: none"> ・ 管路更新については、令和4年度策定予定の水道アセットマネジメントで、更新計画を策定し、優先順位の高いものから効果的に更新を進める予定です。 |